

第 11 回奈良公園地区整備検討委員会 議事要旨

日 時 : 平成 28 年 3 月 1 日 (火) 10 時 00 分 ~ 12 時 00 分

場 所 : 奈良春日野国際フォーラム 薨 ~ I・R A・K A ~ 別館 2 階 会議室 5

出席者 : 委 員 長 増井 正哉

委 員 井原 縁、北口 照美、佐野 純子、塚口 博司、森本 恵史、
福村 亘倅、山出 真司、遊津 隆義

アドバイザー 青木 達司

事 務 局 奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局奈良公園室

関係部局 <<奈良県>>道路環境課、奈良公園事務所、文化財保存課、文化資源活用課、管財課、景観・自然環境課、宮繕プロジェクト推進室
<<関係機関>>奈良市景観課、奈良市文化財課、奈良市観光振興課、
奈良市総合政策課

議事 I. (仮称) 登大路バスターミナルの整備について

議事要旨

- 世界遺産ゾーンや文化財を守る事につながる交通渋滞の緩和という目的の面から、このバスターミナルの整備は賛成である。
- (仮称) 登大路バスターミナルを整備し、うまく活用することで、奈良公園の奥深くまでバスを入れないという目的は大変結構な事と思う。事業を着実に進め、奈良公園を安心して楽しく回遊できるような場所にしていだければと思う。
- 資料について、(仮称) 登大路バスターミナルにおける来訪者の満足度の向上というのは具体的にどういう事か、その機能を考える上での留意点は何なのか、ということをもう少し書き込む必要があるのではないかと思う。
- (仮称) 登大路バスターミナルが出来る事によって、奈良に来られたお客様の車の動線や車を降りてからの人の動線を変えられると期待している。また、この(仮称) 登大路バスターミナルのガイダンス施設で奈良の様々ないいところを紹介して、いろんな観光のルートがあるということを知っていただくなど、このバスターミナルを有効に使ってほしい。
- 名勝指定地の中でも建物を建てなければその価値を維持できないのであれば、本計画地でのバス

ターミナルの整備はやむを得ないところがあり、特に交通機能に関してはこの場所しかないと思う。

○この計画では、できるだけボリューム感を下げ、建ぺい地を減らしていくという努力をされたことや、建物のデザインもぎりぎりまで工夫されたことは評価できる。

○当計画地は、名勝指定地であり、市街化調整区域であることを踏まえると、このようなボリュームのある施設は、原則的には建てるべきではない。しかし、名勝の維持管理・活用に必要であり、他に適切な場所がない等、真にやむを得ない事情がある。このことから、できるだけボリュームを抑え、周囲の景観に配慮した施設の整備はやむを得ない。

○やむを得ず造るのであるから、できるだけ良いものを造っていただきたいというのが委員の共通の思いです。

以 上